ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

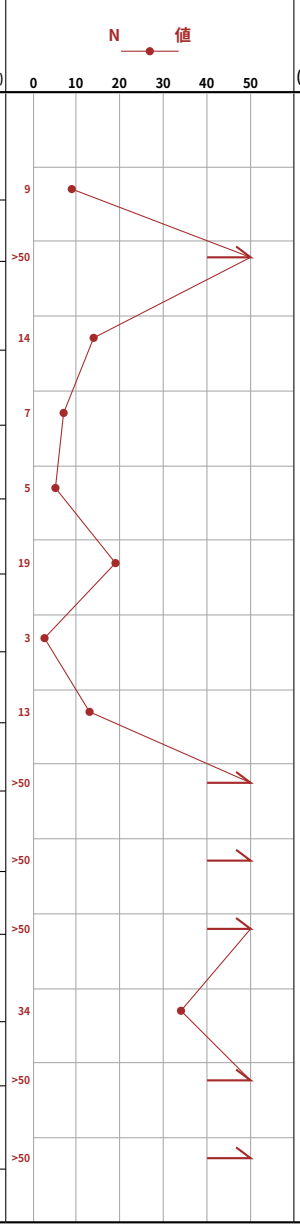
ボーリングNO.									
シートNO.									

ボーリング名	NO.B-2(左岸側)	調査位置				北　緯	36 ° 49 ' 31.0000 "
発 注 機 関	栃木県大田原土木事務所		調査期間	2008-08-21 ～ 2008-08-26		東　経	140 ° 08 ' 07.0000 "
調査業者名		主任技師	現　場 代 理 人		コ　ア 鑑 定 者	ボーリング責任者	
孔 口 標 高	237.33 m	角度	180° 上 / 下 0° 90° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	試 錐 機	ハンマー落下用具
総 掘 進 長	14.42 m	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種		エンジン	ポ ン プ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	236.83	0.50	0.50		埋土(礫混り粘土) (FI)	黒褐		軟らかい	礫混り粘土主体 植物根を多量に混入 φ5～50mm程度の礫を混入		
1					砂礫 (GS)	暗褐～暗灰	緩い		φ5～50mm程度の亜円～亜角礫主体 コア長L=3～10cm(推定礫径φ100～300mm)程度の玉石点在 礫間は砂主体で少量の粘土で充填		
2											
3	233.73	3.10	3.60								08/22 2.80
4					砂混り粘土 (CH-S)	褐灰～暗褐		中位	含水中位　粘着やや小位 全体に細砂を混入し、所々多い 所々φ5mm程度の亜円礫を混入		
5	231.63	2.10	5.70								
6	230.73	0.90	6.60		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗灰～褐灰	中ぐらい		φ2～30mm程度の亜円～亜角礫主体 最大礫径φ50mm程度 礫間は砂主体で所々粘土を混入		
7					砂混り粘土 (CH-S)	暗青灰～暗灰		軟らかい	含水中位～やや大位　粘着中位 全体に細砂を混入し、所々多い 所々φ2～5mm程度の礫を混入		
8	229.03	1.70	8.30								
9					粘土混り砂礫 (GS-C)	褐灰～黄褐灰	非常に密な		φ2～40mm程度の亜円～亜角礫主体 所々コア長L=3～5cm(推定礫径φ100～150mm)程度の玉石点在 礫間は粘土主体で少量の砂を混入 所々粘土分が多い GL-11.30～12.00m付近玉石多い 礫は安山岩や石英斑岩が多い		
10											
11											
12											
13											
14	222.91	6.12	14.42								

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	4	2	3	9／30	9
1.45					
2.15	38	12／2		50／12	>50
2.27					
3.15	5	5	4	14／30	14
3.45					
4.15	2	2	3	7／30	7
4.45					
5.15	2	1	2	5／30	5
5.45					
6.15	6	6	7	19／30	19
6.45					
7.15	1／15	1	1	3／35	3
7.50					
8.15	1	3	9	13／30	13
8.45					
9.15	13	37		50／20	>50
9.35					
10.15	16	17	17／8	50／28	>50
10.43					
11.15	13	37／3		50／13	>50
11.28					
12.15	11	10	13	34／30	34
12.45					
13.15	31	19／5		50／15	>50
13.30					
14.15	19	16	15／7	50／27	>50
14.42					



原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
						08/22
						08/23
						08/25